

## 乳房インプラント抜去と同時のコンデンスリッチ豊胸: 440症例超の経験

長野 寛史/山川 雅之/大橋 昌敬/中居 弘一/千葉 明彦/三尾 泰司/福田 越

Hiroshi Nagano, M.D., Masayuki Yamakawa, M.D., Masanori Ohashi, M.D., Hirokazu Nakai, M.D.,  
Akihiko Chiba, M.D., Yasushi Mitsuo, M.D., Etsu Fukuda, M.D.

ザ・クリニック東京  
The Clinic Tokyo

---

### ■抄録

乳房インプラントは美容目的の豊胸術や乳癌術後の再建として確立された方法であるが、カプセル拘縮や破損など残された問題も多く、その触感や形の不自然さからインプラントの抜去を求める患者も多い。しかし、抜去後の胸の変形やボリュームダウンに抵抗が強くなかなか抜去に踏み出せないケースが多いのが現状である。

そういった背景の中、当院では乳房インプラント抜去の際、同時にLipokit (Medikan)を用い加重遠心分離した自家脂肪(コンデンスリッチファット:CRF)を注入して豊胸(再建)を行っている。

当院では2009年に乳房インプラントの抜去と同時のCRF豊胸を開始し、2014年までに446症例を経験している。

今回我々は乳房インプラント抜去と同時のCRF豊胸の良好な短期成績とともに、バッグの位置(乳腺下、大胸筋下)に対しての異なったアプローチ法、注入法の工夫に関して報告する。

memo

---